

夏休みの

子ども食堂へ支援を

答 社協で食材提供を行っている



問 本町にある子ども食堂の設置数はどのくらいか。また地域と名称を問う。

副町長 ①社会福祉協議会のキッチンちむぐる②新川自治会の新川区民食堂③山川自治会の山川食育こども食堂④津嘉山地区のこども食堂nanaの4件となっている。

問 夏休み期間における子ども食堂への支援ができないか。子どもたちが夏休みで学校給食がなくなる。ひとり親世帯、困窮世帯の子どもたちを社協の子ども食堂では週1回。他の子ども食堂では月に1回の状況の中で、町として、この夏本当にひもじい思いをさせ

ないでやっていけるか。

民生部長 社会福祉協議会で夏休み期間にかかわらず食材提供支援を行っている。町では、夏休みに限らず、養育に課題がある、あるいは家庭内で食事が行き渡っていない家庭を把握していて、しっかりフォロー、支援をしている。



子ども食堂の様子



浦崎 みゆき 議員

問 こどもの居場所・こども食堂のマップ、チラシ等は作成されているか。

副町長 マップ、チラシ等はないが、社会福祉協議会のSNSを活用した広報を実施している。

成年後見制度の 周知徹底で町民を守れ

問 成年後見制度とは簡単にどういった内容か。

福祉課長 判断能力が低下または不十分な状態になられた方に、権利や財産を守るために、サービス等の手続を、後見人を選任して利用する制度である。

問 1回聞いただけでは分からない。改正案は使い勝手のいい制度となる予定だ。制度の周知で町民の皆さんを守っていくという視点もある。公民館単位などの開催など取り入れてほしいがどうか。

福祉課長 関係者の皆様に丁寧な説明が必要だと考える。各字へ出向いたり、集まる機会等を通じ周知できるよう取り組んで行く。

4年間を振り返って

皆様の思いを制度の拡充や町に対する提案を一般質問を通して発言し皆様の代弁者として町政に携わることが出来ました。深く御礼と感謝を申し上げます。